

### 令和3年度 研究外部評価（事後評価）におけるコメントおよび対応

| 整理番号  | テーマ名  | 評価点  | 総合評価 |
|---|---|------|------|
| 21-C6   | 食器洗浄機に対する耐久性試験に関する研究  | 11.6 | A    |
| 研究期間  | 令和元年度～令和2年度（2カ年）  |      |      |
| 研究概要  | 九谷焼の和絵具の JIS 試験に対する耐久性について試験・評価し、焼成温度を高くすることにより、いずれの絵具も耐久性が向上する傾向を明らかにした。 |      |      |
| 外部評価委員のコメント   |   |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術的な知見として今後の活用を期待します。</li> </ul>   |   |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食洗機への対応という新たなニーズに対応するための新規性のある知見の蓄積であり、成果をあげられていると思います。</li> <li>・ 焼成温度を上げ、無鉛フリットを加えることがコストや工法的に実現可能なものとするのが望ましいです。</li> </ul>       |   |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的の耐久性をもつ絵具を開発できたことは望ましい成果であったと思います。実際の現場での使い勝手や長期での劣化の具合をより実用に近い状況で検証していけば利用性の高い製品の開発につながると思います。これからの細部までの品質の調整に期待しています。</li> </ul> |   |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来必ず役に立つ研究であると思います。さらなる研究開発を期待します。</li> </ul>  |   |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的な取組みでよいです。</li> </ul>   |   |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 九谷焼の食器洗浄機による使用耐久性能について、購入者への説明根拠となる一定の評価がされ、さらに、対策として劣化原因からフリットの変更による改善方法が見い出せた成果は大きいと思います。今後の業界への普及浸透が期待されます。</li> </ul>            |   |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食器洗浄機以外の洗浄でも退色はあるのでしょうか。</li> <li>・ 食器洗浄機は現在一般的なのでしょうか。</li> <li>・ 九谷焼が身近なものとして発展するとよいです。</li> </ul>                                 |   |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無鉛和絵具の耐酸性、耐久性を当初の目標どおり向上することに成功しており、JIS 規格に適合するレベルに到達しています。今後、九谷焼の欧米への輸出促進のためにも業務用の BS にも対応できるとなお良いと思われまます。</li> </ul>               |   |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 九谷焼の和絵具の耐久性について、無鉛和絵具、耐酸和絵具ともに耐久性向上を実現する条件設定が確立できています。</li> </ul>  |   |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS 規格の陶磁器製品全般への展開の見通しについて説明があればベターです。</li> <li>・ BS と JIS では試験液の濃度に差異がありますが、その背景について説明願います。</li> </ul>                              |   |      |      |